



## 四万十市ふるさと応援団 ニュース《第9号》 2011/3/14

東北関東大震災で被災された方々に心からお見舞い申し上げます



このたびの大地震には言葉もないほど驚いています。国の地震対策の想定  
の範囲を超える、マグニチュード9.0は「千年に一度」の規模ということです。

被災された団員もおられるという情報をいただいております。

首都圏では、今日から「計画停電」が始まることから、生活、産業面での  
大きな影響がでることが予想されています。菅首相は「戦後最大の国家的危機」  
と言っています。西日本の電力を東日本支援のために十分に送ることができな  
いとは、なんともはがゆい限りです。国の電力システムの欠陥が露呈しました。

高知県にも地震直後に津波警報がでましたので、本市もただちに地震対策本  
部（本部長：市長）を設置。海岸地区に避難勧告を発令しました。そのあと大  
津波警報に格上げされましたので、避難指示に切り替え、約300人を避難所  
に誘導。地区の保育所は休所、中学校の卒業式は延期しました。本市で避難指  
示を出したのは初めてであり、かつて経験のない緊張感を経験しました。

本市では、いまのところ人的被害は出ていません。しかし、高さ1メートル  
を超える津波を記録したことから、四万十川河口のアオサノリの養殖場の網や  
杭が流される被害を受けました。四万十川は天然のスジアオノリがとれること  
で有名ですが、種類の違うアオサノリの養殖もおこなっています。

本市では、昭和21年12月の「昭和の南海地震」で甚大な被害を受けたこ  
ともあり、近い将来予想される新たな地震への対策を進めており、先月も都司  
嘉宜東大地震研究所准教授（今回NHKで解説）を迎え、「防災講演会」を開い  
ただけです。しかし、今回の地震規模をみると、対策を抜本的に見直さなけ  
ればならないと強く感じています。

いまは今回の未曾有の大地震で被害に遭われた方々への、いつときも早い救  
出と救援が進むことを祈っています。

本市としてもできる限りの支援をいたします。

平成23年3月14日

四万十市長 田中 全